

人が輝く・未来を創る「スタジオそら」

～社会課題の解決に挑む協奏カンパニーを目指して～

アース・キッズ株式会社
代表取締役社長 西岡真一郎

| 理念と情熱を受け継いで 「子どもたちのために。以上。」

創業以来、「スタジオそら」(児童発達支援・放課後等デイサービス)の事業にご協力いただいている皆様に感謝申し上げます。この度、アース・キッズ株式会社の代表取締役社長に就任いたしました西岡真一郎です。

高見裕一前社長が掲げた「子どもたちのために。以上。」という理念、そして社会課題の解決にかける情熱とビジョンを受け継ぎ、社風やスタッフの人柄、将来への可能性など、魅力と誇りに満ちたアース・キッズを、次の世代に繋いでまいります。

| 首長から社長へ 「世のため、人のため、そして家族のために」

私は自治体首長を経て、当社の経営に参画しました。自治体経営と企業経営には共通点もありますが、企業は、「選ばれ続けなければ生き残れない経営」であり、その厳しさを実感する日々です。

私が一貫して大切にしていることは「世のため、人のため、そして家族のために一生懸命に働く」こと。私は4歳と1歳の子どもを育てる父親でもあり、この世に誕生したかけがえのない命は社会の宝だと考えています。しかし、子どもたちを取り巻く社会には、無数の課題が存在しています。だからこそ、すべての子どもが健やかに育つ環境づくりは社会全体、企業にとっても極めて重要な使命だと確信しています。

| 「スタジオそら」の歩みと専門的支援の深化 「子どもの笑顔が原動力」

当社は児童福祉法に基づく障害児通所支援事業を通じ、発達に特性のある子どもたちに寄り添う発達支援療育を提供してきました。子どもたちの個性や特性を踏まえた発達支援療育を展開し、保護者支援にも取り組んでいます。

2012年に開業し、スタッフの努力によって着実に事業を展開、現在は東京都・神奈川県内で16拠点・30事業所を運営しています。エビデンスに基づく専門的かつ独自の発達支援プログラムが成果を上げており、私たちは子どもたちの成長と共に喜んできました。子どもたちの笑顔こそが原動力です。2019年には「発達障害療育研究所」を設立し、専門家チームによるプログラム研究開発と実装に取り組んでいます。研究所の存在は他社にはない強みです。人と事業を支える本社スタッフも極めて重要な役割を担っています。

| 蓄積してきた専門的支援・ノウハウの普及 「新規事業への挑戦」

当社では、蓄積してきた専門的支援やノウハウを社会全体へ拡げる書籍出版やセミナー等も実践しています。また、育児×保育×療育の総合情報メディア「チャイルドラボ」を開発し、アプリとウェブサイトを通じて発達支援プログラム等の情報発信を行い、社会全体で子どもを育てる環境づくりを推進しています。

また、保育園等の事業者による児童発達支援施設の開業運営支援・人材育成にも応じています。多様性を尊重するインクルーシブ保育を推進するために、13年間の実績とリソースを活かし、すべての子どもが共に育ち合える保育の実現に向けて、発達支援の輪を社会全体に広げてまいります。

| 人との出会いを大切に、地域に根差した事業所運営 「人とスタジオそらが輝く」

素晴らしい理念や事業も、「人」なしでは動かせません。当社にとって最大の財産は、一人ひとりのスタッフ（人財）であり、最大の力はチーム力です。スタッフの情熱が子どもたちの笑顔につながります。だからこそ、私たちはスタッフが成長できる環境づくりを大切にしています。研修の充実、横断的なスタジオ・スタッフ間の連携に努め、相互理解を促す企業風土を育んでいます。努力が報われる組織でありたいと考えています。スキル習得や資格取得だけでなく、出会いやチームで働く喜び、人間力向上の財産を得られる場でありたいと願っています。

スタッフ自身も活き活き輝く存在であり、スタッフにとって会社が「宝箱」でありたい…、「働き続けたい」「やりがいがある」と思える職場こそ、私たちが目指す姿です。人は、人との出会いによって人生に彩を加えます。子どもたちのために、情熱を持つ方は、ぜひ一度当社へいらしてください。
私たちは、一緒に働く仲間をお待ちしています。

「スタジオそら」では、子どもたちは大空に輝く太陽のようにのびのびと成長しています。各スタジオでは、創意工夫を凝らし、チーム力で子どもたちを支えています。多様な経験や専門性を持つ発達支援療育士は、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、カスタマイズされた発達支援プログラムを作り上げています。こうした日々の積み重ねが療育提供体制を支えています。また、各事業所では地域連携を大切にしています。保護者の方々、幼稚園・保育園や学校、地域資源、行政等の関係機関と手を携え、地域全体で子どもたちを支えるネットワークを築いてきました。今後も、地域の声に耳を傾けながら、スタジオそらも地域の中で輝く存在となれるように歩んでまいります。

| 新たな10年に向けての決意 「温故知新」「未来=人間力×努力×挑戦」

この先、AIはさらに高度化し、社会に浸透していきます。子どもたちを取り巻く社会や教育環境も大きく変化していくことでしょう。しかし、子どもの成長においては、いつの時代も変わらない普遍的要素や価値観が求められるとも感じています。私は「未来=人間力×努力×挑戦」であると信じています。人の温かさ、努力を惜しまない姿勢、変化を恐れず挑み続ける勇気—これらが揃ったとき、未来を動かすことができるはずです。

私は、現場と社会にアンテナを高く掲げ、子どもたちの社会課題に挑戦します。「決断と実行」により時代の先駆けとなるよう行動します。これから10年も、子どもたちのための企業としての存在意義を高め、社会に新たな価値を創造する力を育んでいくことが私の使命です。そして、協奏（共感・協働・共創）の原動力となる会社づくりを目指してまいります。どうか、皆様のお力を私たちにお貸しください。